

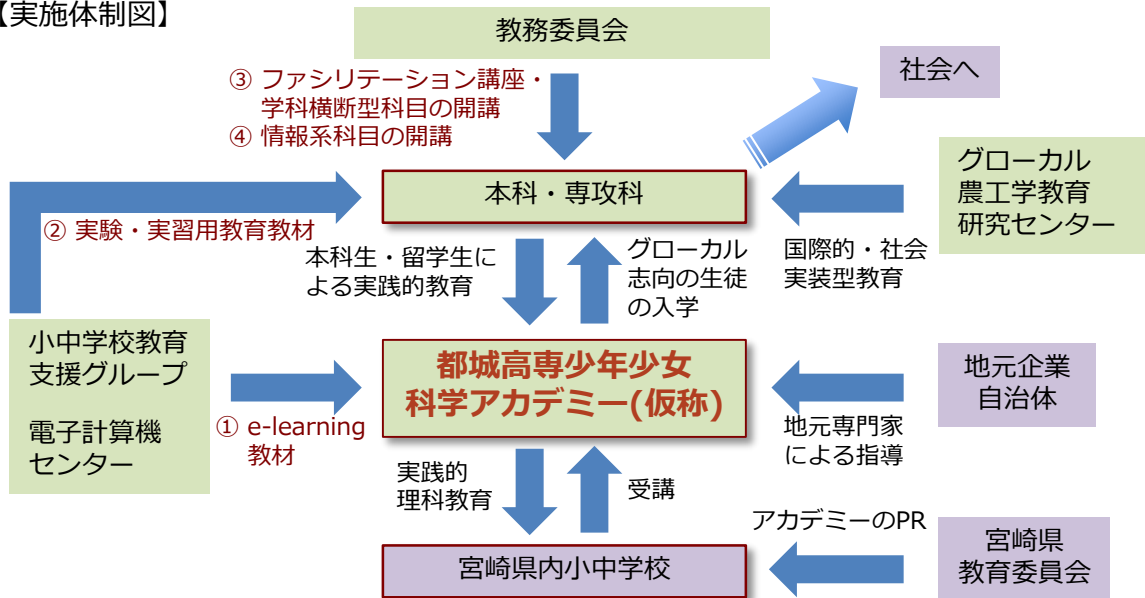
【取組の目的】

平成29・30年度の採択事業 “国際性および社会実装力を育む教育システムの開発” では、「地域への貢献」および「国際化の加速・推進」を目的として、グローバル人材を育成している。今回申請の事業では、「新産業を牽引する人材育成」を目的とし、小中学校と都城高専の架け橋となる“少年少女科学アカデミー”を設立し、小中学生の早期技術者教育および本校グローバル人材育成のための小中学校・高専一貫教育システムを構築し、実行する。

【取組内容】

- 都城高専少年少女科学アカデミーを立ち上げ、そこを核として以下の4つの事業に取り組む。
- ① アカデミーのベーシックプログラムにおける家庭での事前学習用e-learningシステム構築とコンテンツ（ものづくり、プログラミング、実験・観察、まちづくりコース用）の開発
  - ② アカデミーのベーシック・アドバンスドプログラムにおける実験・実習用教育教材の開発
  - ③ アカデミーのアドバンスドプログラムにおいて本科生が小中学生を指導するためのファシリテーション講座（3年生）の導入
- ①～③を小中学生、高専生に提供することで、都城高専、少年少女科学アカデミー、小中学校での教育がスパイラルアップする。これにより、本校学生の主体性・指導力・課題解決力などの汎用的能力を効果的に涵養できる。また、その成果を小中学校へ還元できる。

【実施体制図】



【工程表】

教育組織	平成30年度			平成31年度			平成32年度		
	1	2	3	1	2	3	1	2	3
小中学校教育支援グループ	← e-learningコンテンツ開発 →								
電子計算機センター	← e-learningシステム準備 →			← e-learningシステム管理・拡張 →					
教務委員会	← カリキュラム検討 →								
宮崎県教育委員会	← 都城高専と教育委員会との連携会議 →								
外部評価委員会									
都城高専少年少女科学アカデミー	設立準備 トライアル	ベーシック プログラム	アドバンスド プログラム	ベーシック プログラム	アドバンスド プログラム	ベーシック プログラム	アドバンスド プログラム	ベーシック プログラム	アドバンスド プログラム

Legend: ● 打合せ会議 (Meeting), ● 広報会議 (Publicity Meeting), ● 検証会議 (Verification Meeting)

【成果指標】

	H29年度	H30年度	H31-35年度
① 家庭での事前学習用e-learningのコンテンツ数（小中学生対象）	29個	39個	60個
② アカデミーの実験・実習用教育教材のコンテンツ数（小中学生対象）	2個	5個	20個
③ 本科生が小中学生を指導するためのファシリテーション講座数及び受講者数	-	1講座 100人	3講座 300人

【第4期中期目標期間への展開（見込み）】

- 小中学校や地域との連携を図りながら新産業を牽引する人材育成を推進し、地域における本校のプレゼンスの向上を図る。具体的には、以下の通りである。
- (1) PBL型教育やファシリテーション講座を含む横断型科目数の増加
  - (2) 学生の主体性、指導力、課題解決力向上に伴う原級生の減少(5カ年50%削減)
  - (3) アカデミー内に留学生による英語のみで講義するコース開設
  - (4) 本校にマッチした入学志願者および地元就職率の上昇(共に5カ年20%増加)
  - (5) 小中学校・高専一貫教育システムの他市町村や他都道府県への広域展開
  - (6) e-learningコンテンツおよび本事業のノウハウの高専間での共有化